

## 契約当事者市町別の相談件数

平成30年度（平成30年4月～平成30年12月）

市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比	市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比
津市	398	428	-30	93.0%	朝日町	18	19	-1	94.7%
四日市市	179	220	-41	81.4%	川越町	26	21	5	123.8%
伊勢市	104	103	1	101.0%	多気町	32	26	6	123.1%
松阪市	168	215	-47	78.1%	明和町	52	56	-4	92.9%
桑名市	118	142	-24	83.1%	大台町	17	19	-2	89.5%
鈴鹿市	138	157	-19	87.9%	玉城町	34	16	18	212.5%
名張市	91	82	9	111.0%	度会町	4	8	-4	50.0%
尾鷲市	20	19	1	105.3%	大紀町	12	4	8	300.0%
亀山市	57	51	6	111.8%	南伊勢町	16	13	3	123.1%
鳥羽市	15	25	-10	60.0%	紀北町	17	23	-6	73.9%
熊野市	22	17	5	129.4%	御浜町	7	10	-3	70.0%
いなべ市	50	51	-1	98.0%	紀宝町	14	7	7	200.0%
志摩市	42	75	-33	56.0%					
伊賀市	81	112	-31	72.3%	県内不明	20	30	-10	66.7%
木曾岬町	9	12	-3	75.0%	県外・不明	81	81	0	100.0%
東員町	38	26	12	146.2%					
菰野町	49	44	5	111.4%	合計	1,929	2,112	-183	91.3%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。